

平成30年度匝瑛市病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 平成30年度病院事業会計決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収益	1,900,346	598,333	2,498,679
費用	1,990,888	620,288	2,611,176
差引	△ 90,542	△ 21,955	△ 112,497

繰入金	416,386	27,109	443,495
差引	△ 506,928	△ 49,064	△ 555,992

病院事業においては、収益では入院患者の減に伴い入院収益が減少した一方、外来患者の増に伴い外来収益は増加しました。収益全体では、訪問看護ステーション収益の減や他会計補助金の減により、前年度と比較して△3.5%、68,009千円減となりました。費用では、給与費で、一般会計との間で総合事務組合負担金の負担割合の変更を行ったことによる退職手当負担金の減や材料費の減により、前年度と比較して△5.8%、122,814千円減となりました。その結果、病院事業では90,542千円の損失となりました。(一般会計繰入金を差引いた場合、506,928千円の損失)

介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)事業では、通所者は減少しましたが入所者が大幅に増加したため、収益全体では前年度と比較して2.5%、14,705千円増となりました。一方費用でも、入所者数の増加に伴い材料費、経費等が増加したことにより、前年度と比較して1.7%、10,294千円増となりました。その結果、介護老人保健施設事業では21,955千円の損失となりました。(一般会計繰入金を差引いた場合、49,064千円の損失)

病院事業合計では、112,497千円の損失となりましたが、病院事業、介護老人保健施設事業ともに損失が減少したため、前年度より59,216千円収支が改善しました。

病院事業

(単位:千円、%)

区分	H30年度		H29年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	1,900,346	100.0	1,968,355	100.0	△ 68,009	△ 3.5
医業収益	1,351,210	71.1	1,351,445	68.7	△ 235	△ 0.0
入院収益	687,986	36.2	704,659	35.8	△ 16,673	△ 2.4
外来収益	542,449	28.5	527,280	26.8	15,169	2.9
他会計負担金	52,164	2.8	50,478	2.6	1,686	3.3
その他医業収益	68,611	3.6	69,028	3.5	△ 417	△ 0.6
訪問看護ステーション収益	87,485	4.6	97,631	5.0	△ 10,146	△ 10.4
居宅介護支援事業所収益	30,343	1.6	30,871	1.6	△ 528	△ 1.7
医業外収益	431,308	22.7	485,269	24.6	△ 53,961	△ 11.1
他会計補助金	370,369	19.5	417,071	21.2	△ 46,702	△ 11.2
その他医業外収益	60,939	3.2	68,198	3.4	△ 7,259	△ 10.6
特別利益	0	0.0	3,139	0.1	△ 3,139	皆減
病院事業費用 B	1,990,888	100.0	2,113,702	100.0	△ 122,814	△ 5.8
医業費用	1,788,025	89.8	1,905,882	90.2	△ 117,857	△ 6.2
給与費	1,137,569	57.1	1,216,808	57.6	△ 79,239	△ 6.5
材料費	146,443	7.4	176,656	8.3	△ 30,213	△ 17.1
経費	374,548	18.8	371,802	17.6	2,746	0.7
減価償却費	120,930	6.1	134,859	6.4	△ 13,929	△ 10.3
その他医業費用	8,535	0.4	5,757	0.3	2,778	48.3
訪問看護ステーション費用	113,151	5.7	119,993	5.7	△ 6,842	△ 5.7
居宅介護支援事業所費用	29,320	1.5	30,640	1.5	△ 1,320	△ 4.3
医業外費用	59,622	3.0	56,373	2.6	3,249	5.8
支払利息	219	0.0	396	0.0	△ 177	△ 44.7
その他医業外費用	59,403	3.0	55,977	2.6	3,426	6.1
特別損失	770	0.0	814	0.0	△ 44	△ 5.4
差引(A-B)	△ 90,542		△ 145,347		54,805	

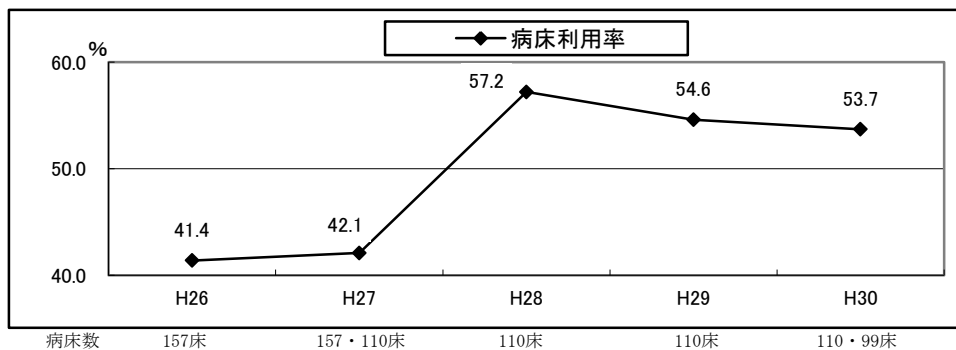
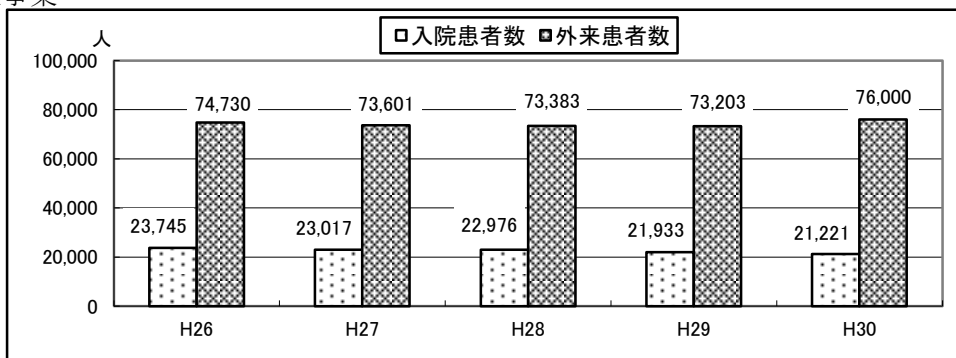
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区分	H30年度		H29年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	598,333	100.0	583,628	100.0	14,705	2.5
施設事業収益	522,330	87.3	508,481	87.1	13,849	2.7
施設事業外収益	68,669	11.5	68,613	11.8	56	0.1
特別利益	7,334	1.2	6,534	1.1	800	12.2
介護老人保健施設事業費用 B	620,288	100.0	609,994	100.0	10,294	1.7
施設事業費用	596,142	96.1	585,602	96.0	10,540	1.8
施設事業外費用	24,146	3.9	24,392	4.0	△ 246	△ 1.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
差引(A-B)	△ 21,955		△ 26,366		4,411	

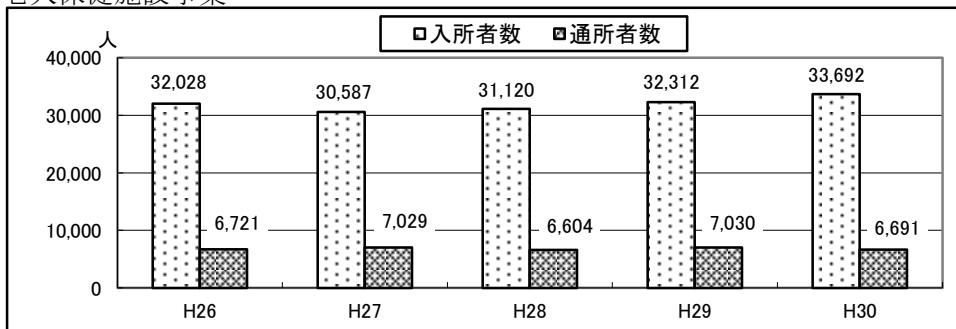
2 患者数等の状況

①病院事業



平成30年度では、入院患者は、前年度に対して712人（△3.2%）減の21,221人、外来患者は、前年度に対して2,797人（3.8%）増の76,000人となりました。病床利用率は、平成31年2月から病床数を99床に減らしましたが、53.7%となり、前年度に対して0.9ポイント減少しました。

②介護老人保健施設事業

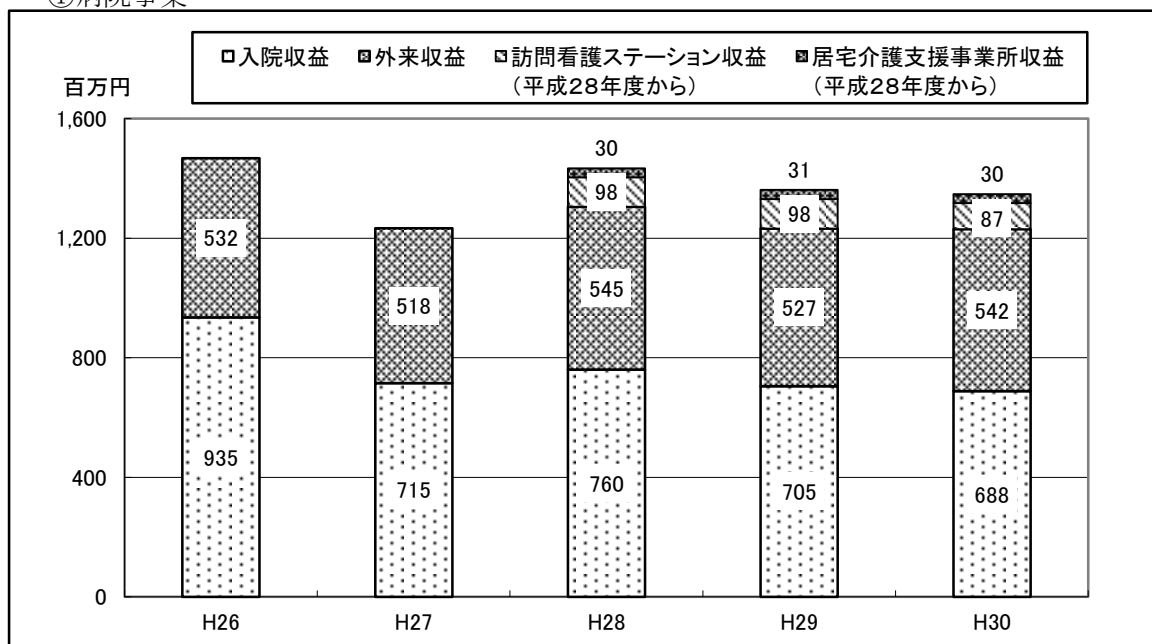


介護老人保健施設そうさぬくもりの郷の入所者数は、前年度に対して1,380人（4.3%）増の33,692人、通所者数は、前年度に対して339人（△4.8%）減の6,691人となりました。

3 収益的収支

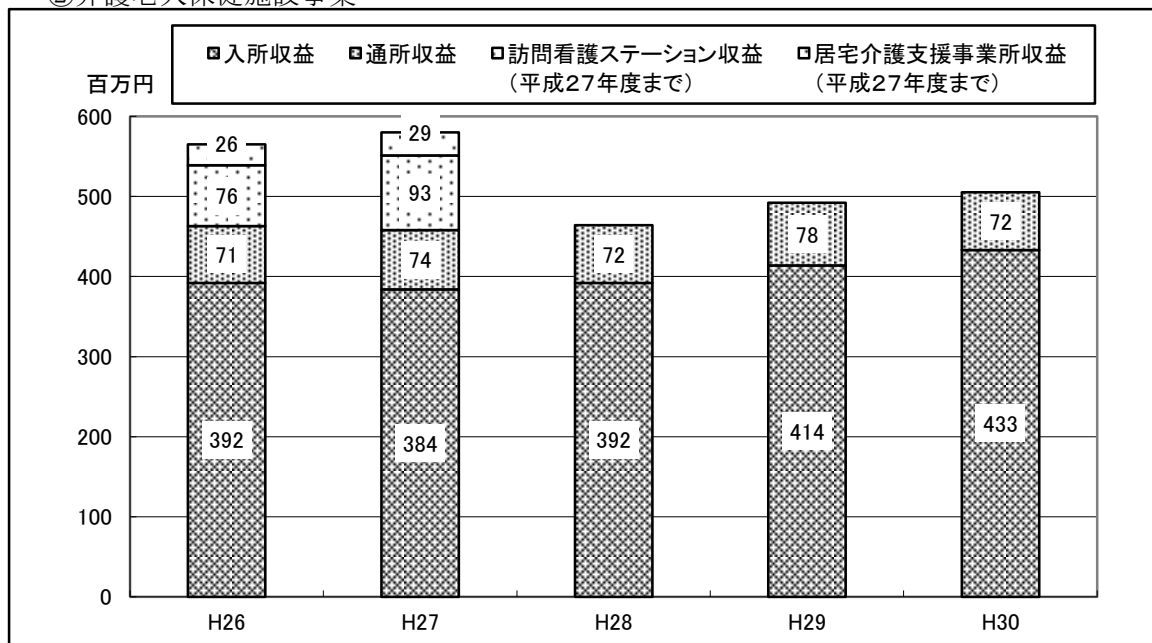
(1) 収益

①病院事業



入院収益は、患者数の減少により、前年度に対して17百万円（△2.4%）減の688百万円、外来収益は、患者数が増加したことで、前年度に対して15百万円（2.8%）増の542百万円となりました。
訪問看護ステーション収益は、訪問件数の減少により、11百万（△11.2%）減の87百万円となりました。

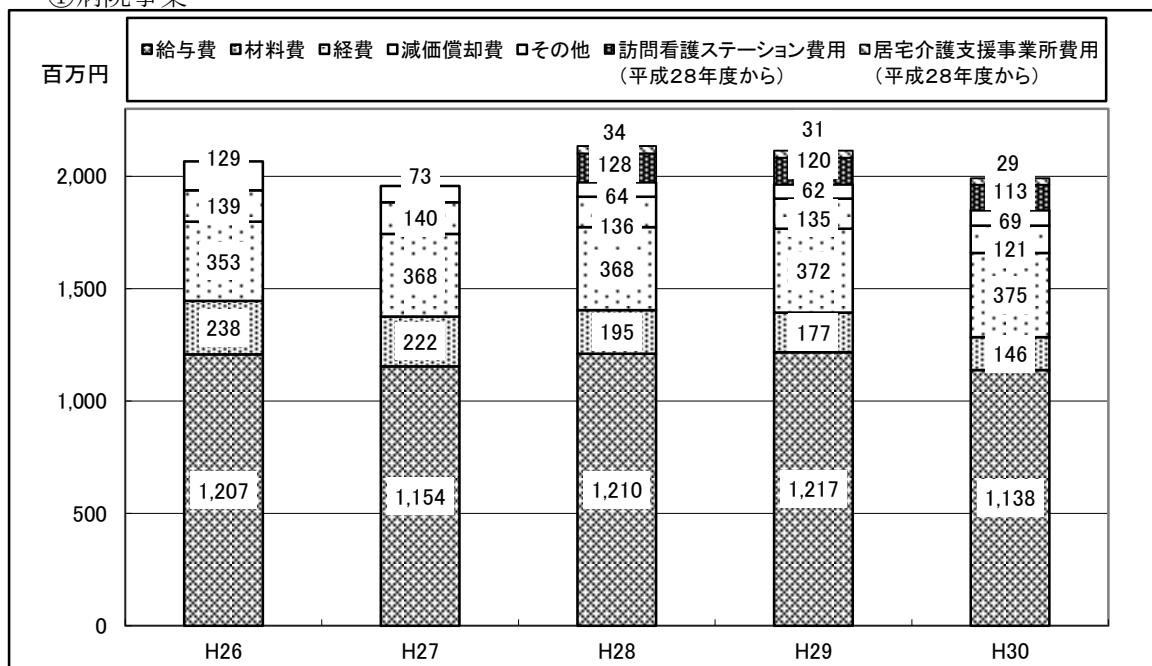
②介護老人保健施設事業



入所収益は、入所者数の増加により、前年度に対して19百万円（4.6%）増の433百万円となりました。
通所収益は、前年度に対して6百万円（△7.7%）減の72百万円となりました。

(2) 費用

①病院事業

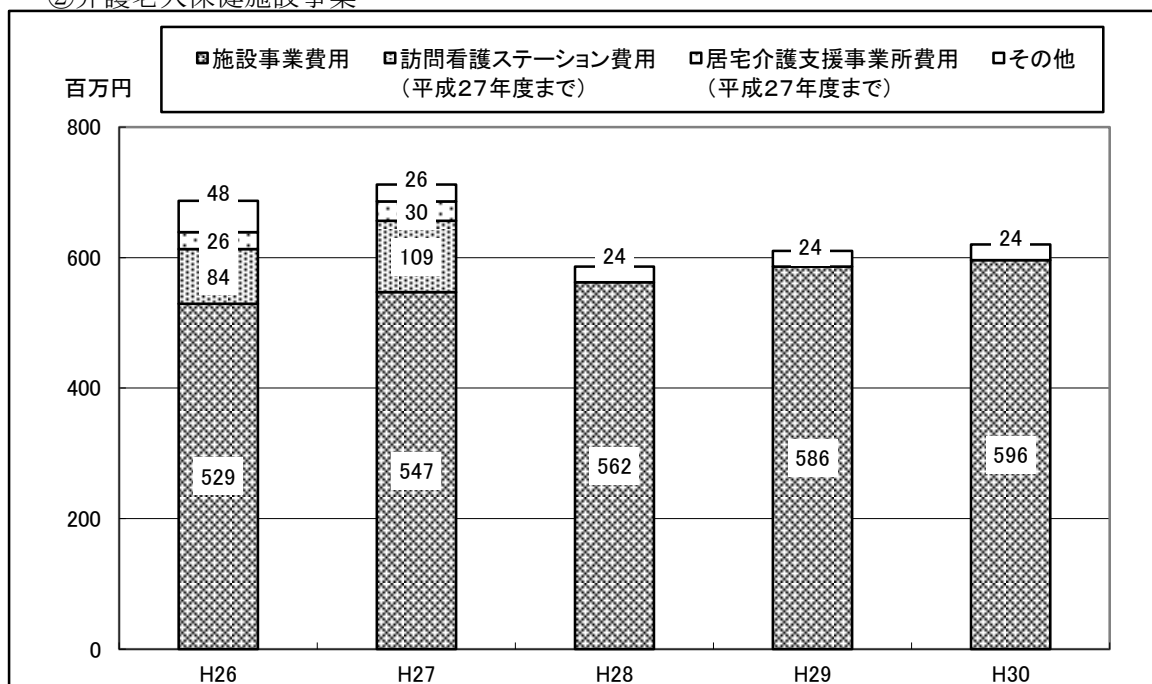


給与費は、職員数の減により給料、手当等は減少しましたが、非常勤医師の増等に伴い臨時職員賃金は増加しました。給与費全体では退職手当負担金の減額により、前年度に対して79百万円（△6.5%）減の1,138百万円となりました。

材料費は、薬品費、診療材料費ともに減少し、全体では31百万円（△17.5%）減の146百万円となりました。

経費は、賃借料の減に対し、光熱水費、燃料費、修繕費、委託料が増加したため、前年度に対して3百万円（0.8%）増の375百万円となりました。

②介護老人保健施設事業



施設事業費用は、利用者数の増加に伴う材料費、経費等の増加により、前年度に対して10百万円（1.7%）増の596百万円となりました。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H29年度 全国自治体 病院平均
経常収支比率	93.7	89.8	94.3	93.4	95.4	98.0
医業収支比率	80.1	70.8	73.1	70.4	74.3	88.4
医業収益に対する職員給与費	69.3	78.7	79.1	82.6	83.1	55.9
医業収益に対する医療材料費	14.1	15.1	12.6	11.9	10.0	24.0
1床当たり繰入金	2,313	3,280	5,306	5,725	5,225	3,896

(地方公営企業決算状況調査)

経常収支比率及び医業収支比率は、収益は減少したものの、費用がそれを上回って減少したため、前年度より改善しました。

医業収益に対する割合で、職員給与費は83.1%で、前年度より0.5ポイント増加し、医療材料費は10.0%で、前年度より1.9ポイント減少しています。

病床1床当たりの繰入金は、前年度より500千円減の5,225千円となりました。

5 病院事業貸借対照表(平成31年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	180
イ 建物	965
ウ 建物付属	388
エ 構築物	7
オ 医療器械	127
カ 器具備品	84
キ 車両	7
ク リース資産	102
有形固定資産計	1,860
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	1
イ その他無形固定資産	8
無形固定資産計	9
(3)投資その他の資産	
ア 長期前払消費税	4
投資その他の資産計	4
固定資産合計	1,873
2 流動資産	
(1)現金預金	248
(2)未収金	287
(3)貯蔵品	7
流動資産合計	542
資産合計	2,415

負債の部

(単位:百万円)

区分	金額
3 固定負債	
(1)企業債	674
(2)リース債務	96
固定負債合計	770
4 流動負債	
(1)企業債	74
(2)リース債務	14
(3)未払金	79
(4)引当金	95
(5)その他流動負債	10
流動負債合計	272
5 繰延収益	
(1)長期前受金	1,138
(2)収益化累計額	△ 811
繰延収益合計	327
負債合計	1,369

資本の部

区分	金額
6 資本金	3,166
資本金合計	3,166
7 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	83
資本剰余金計	83
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	2
イ 建設改良積立金	9
ウ 当年度未処理欠損金	2,214
利益剰余金計	△ 2,203
剰余金合計	△ 2,120
資本合計	1,046

負債資本合計 2,415

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ24億1,500万円で、前年度と比較すると6,300万円の減額となりました。

資産の部のうち固定資産合計は、有形・無形ともに減額となり、前年度に対して3,500万円減の18億7,300万円となりました。

流動資産合計は、現金預金の減額により、前年度に対して2,800万円減の5億4,200万円となりました。

負債合計は、リース債務が新たに加わったことにより、前年度に対して4,300万円増の13億6,900万円となりました。

資本の部のうち剰余金合計は、当年度未処理欠損金の増額により、前年度に対して1億1,300万円減の△21億2,000万円となりました。